



POCO a POCO

ポコ・ア・ポコ

基本理念

安心できる、心暖まる医療

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。

発行人：塚崎 稔

発行所：長崎県長崎市布巻町165-1

TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>

水仙～narcissus～

長崎半島の先端にある野母崎地区の「水仙の里」。

水仙の学名は、ギリシャ神話に登場する美少年narcissusに由来します。

自分自身の美しさに魅了されて水仙の花になったといわれています。

野母崎の美しい海と端島(軍艦島)を望む小高い公園に、約1000万本の水仙が見事に咲き誇ります。

環境省の〈かおり風景100選〉にも長崎県内で唯一選ばれており、美しい花と香りが楽しめます。



新年あけましておめでとうございます

医療法人清潮会は、平成30年11月に開設50周年を迎えました。これを記念してささやかながら祝賀会を開催いたしました。塚崎病院、三和病院、みどりの里に長年勤務され、当法人の発展にご尽力頂きました職員の皆様方に篤く御礼を申し上げます。

この50年間に、日本の精神医療を取り巻く環境は地域医療へと大きくシフトしてきました。患者様が、病院という治療環境から住み慣れた地域の環境に移行していくことが大きな流れになってきています。私たち、精神医療に携わる者は、この流れの中で精神疾患の治療だけではなく、患者様が地域社会の中で生活していく技術を身につけるためにデイケアや訪問看護、グループホーム等を充実させてきました。その結果、多くの患者さんが社会へと船出していったわけですが、社会へ出た患者様の真のニーズは、就労を続けることで社会生活を送れることです。医療法人清潮会は、このような患者様のニーズをできる限り叶えられるよう、職員一同精進してまいりたいと思います。

どうぞ、今後ともより一層の当法人へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



三和中央病院 院長
塚崎 稔



医療法人清潮会 第3回地域交流祭・みどいくんち

今年で地域交流祭は早いもので3回目の開催となりました。今年は天候にも恵まれ、ステージでの出し物や今年初となる消防車と救急車の乗車体験、食べ物・雑貨の出店、各種相談コーナー等など多くの方に来ていただき楽しい地域交流祭になりました。



理事長による挨拶



会場の様子



総務 ゲームコーナー



救護・健康相談



デイケア 雑貨販売



院内保育園 お遊戯

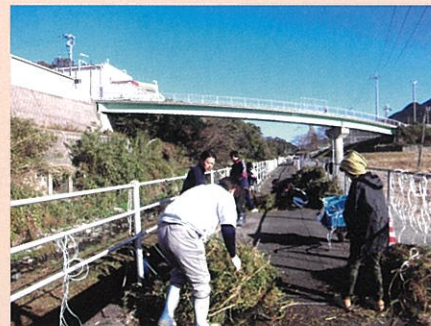


みどりの里 コッコテショ



消防車と救急車の展示・乗車体験

今年も大川大清掃に参加しました!!



2018年11月24日(土)地域交流の一環として大川清掃に参加しました。皆で協力して美しい大川にすることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

クリスマス会・イルミネーション



毎年恒例のクリスマスツリーをデイケアのメンバーさんとスタッフが制作しました。病棟ではクリスマス会を行い患者様に楽しんでいただきました。

心理職の国家資格「公認心理師」が誕生します

診療部 心理療法室 室長 森 和弘

「公認心理師」は、国民が安心して心理職による支援を受けるため、関係団体とともに長年切望した、わが国初の心理職の国家資格です。平成27年に「公認心理師法」が成立、平成29年に施行、平成30年9月に第1回試験、11月に合格発表が行われました。登録手続きが完了次第、春頃には全国に「公認心理師」が誕生する予定です。公認心理師が行う業務は、公認心理師法で以下のように定められています。

1. 心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること。
2. 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。
3. 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。
4. 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うこと。

「公認心理師」は、医療・保健、教育、産業・労働、司法・犯罪、福祉の幅広い領域で活動していきます。国家資格誕生前から活動してきた「臨床心理士」をはじめとする民間資格の心理職、近接領域の専門職とともに研鑽に励み、国民の負託に応えたいと存じます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

北2病棟で家族会を始めました

北2病棟では、今年9月より家族会を開催しています。開催にあたり、なぜ【家族会】を立ち上げたのか。認知症など介護が必要な高齢者は年々増加し、高齢者を支える家族も増加しています。同居して介護をしている家族は、他の家族や友人に日々の介護の悩みを理解してもらえないこともあり、介護ストレスや介護疲れなどにより虐待、無理心中をしてしまう等の社会問題にもなっています。また、入院患者の家族は経済面、接遇、今後の不安などを抱えながら入院させた負い目から病院に対して声をあげることが難しい現状にあります。その中で病棟として家族に対し、認知症患者を介護する家族の特徴を踏まえて、効果的に入院患者の考え方を整理、サポートしていき、情報の共有と家族が気持ちを明かしたり、悩みを相談したり、知識を補ったり、いろいろな家族と交流する「コミュニティの場」のようなものを作りたいと考え開催しました。

対象者は、北2病棟の入院患者の家族としています。現在2回開催し、数名ではありますが参加していただき、胸の内を話してくれました。「みんな同じよ」「そうそう、そういうことある」と内容を共有し、病棟スタッフも家族の思いを知ることができました。

1回目には、家族会が立ち上がったばかりなので、家族会の名前はありませんでした。家族へ「家族会のネーミングを考え次回決定させましょう。」と投げかけ、名前が決定しました。家族会【よかよかの会】です。ネーミングの決定には、家族の思いがありました。心温まるエピソードだったので、家族の了承を得て紹介したいと思います。



いつも父と母がお世話になっております。息子の〇〇です。
 本日は家族会に出席できず申し訳ありません。
 母から家族会の名前が何か良いのいないかな？と言われ、私なりに考えました。
 「良か余暇の会（よかよかの会）」というのはいかがでしょう。
 今回、母から話を聞いて昔の事をよく思い出しました。
 父も母もとにかく私に優しく目一杯の愛情を注いでくれました。
 父は家族のために目一杯働き、母も働きつつ、家のことも目一杯やっていました。
 二人とも全力で働いていました。
 今の状況になり、ふと私は全力で家族のために働いてきた父が体も心も疲れ切ったのかなと思う時があります。なら、父にゆっくりとゆったり時間を過ごして欲しいと考えています。
 物忘れ、失禁等様々な認知症の症状も風邪に例えるなら咳、鼻水です。
 風邪を引いている方に咳するなは無茶なお願いです。
 認知症の方に物忘れしないでは無茶なお願いです。
 そんな時、心をスッと落ち着かせる長崎の方言があります。「よかよか」です。
 私は今〇〇に住んでいます。
 父がそちらにお世話になってから母と毎日電話で話をしているのですが、必ず「よかよか」が出てきます。良い言葉です。母も父のことを思うと色々ネガティブな考えを持ちがちです。
 そんな時、私は母に「よかよか、考えてもしょんなかよ」とよく言います。
 私たち入所家族は、日々認知症の家族のことを考え、悩み、それでも自分達も生活していかななくてはなりません。
 そういう心が苦しくなる時「よかよか」と心で唱え、入所している家族ができるだけ幸せな生活を送ってほしいと願いをこめて、この会の名前を考えました。

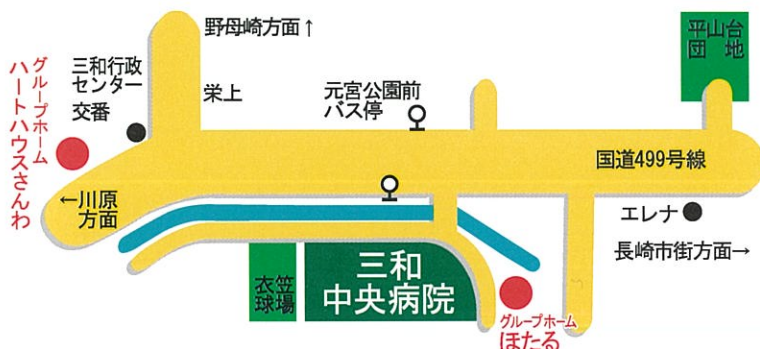
今後も、家族同士が支え合い、また病棟スタッフと手を取り合いながら、入院患者さんのケアにあたっていければと思います。

○三和中央病院ホームページでは、新着情報・学会報告・今後の予定などリアルタイムで更新しています。

詳しくはこちらまで→ <http://sanwa.or.jp>

三和中央病院

検索



医療法人 清潮会 三和中央病院
 診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科
 〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1
 TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588
 E-mail：info@sanwa.or.jp

医療法人 清潮会 あんしん
 訪問看護ステーション
 〒851-0494 長崎県長崎市
 布巻町165-1
 TEL 095-893-8633
 FAX 095-893-8677

グループホーム ハートハウスさんわ
 〒851-0403 長崎県長崎市布巻町72-1
 TEL・FAX 095-892-8780

グループホーム ぼたる
 長崎県長崎市布巻町624-1
 TEL・FAX 095-895-5550

医療法人 清潮会 さんクリニック
 診療科目：心療内科・精神科
 〒850-0842 長崎県長崎市新地町8-16 ミナトパークビル4階
 TEL 095-895-8160・FAX 095-895-8161 <http://www.sanwa.or.jp/sanclinic/index.html>